国語 東書 2年 教科書 P.152〜P.170

22 A

走れメロス(1)

氏名　　組　　番

得点　　／50

1

次の――線部の片仮名を漢字に直し、漢字は読み仮名を書きなさい。（各3点×8）

(1) こちらの商品はお気にメしましたか。
(2) 試験の結果が気になり、イッスイもできなかった。
(3) 会場に早めにトウチャクする。
(4) ケッコン式の日取りを決める。
(5) 川の流れが渦を巻く。
(6) 人質が解放される。
(7) 忠実な民となる。
(8) どのような衣装を身につけてもお似合いです。

(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)

2

次の語句の意味として最も適切なものを後から選び、記号で答えなさい。（各6点×3）

(1) 反駁
ア 繰り返し考えること。　イ 後を心配すること。
ウ そしらぬ顔をすること。　エ 論じ返すこと。

(2) 独り合点
ア 一人で勝手に行うこと。　イ 一人で生計を立てること。
ウ 分かったと思い込むこと。　エ 共有せずに独占すること。

(3) 哀願
ア 泣いて謝ること。　イ 切に願うこと。
ウ 悲しみを嫌うこと。　エ かなわない願い。

(1)	(2)	(3)

3

次の――線部の語句の使い方が正しいものを一つ選び、記号で答えなさい。（各4点×2）

(1)
ア 予想外の高評価にいきり立つ。
イ 他に立候補者がいないので自分がいきり立つ。
ウ 皆の期待を背負っていきり立つ。
エ ひどい言葉を浴びせられていきり立つ。

(2)
ア 辺りをはばかって小声で真実を打ち合ける。
イ 鳥が大空にはばかって飛ぶ。
ウ はばかる視点で状況を見極める。
エ 周囲の圧力をはばかって最後までやりとげる。

(1)	(2)

国語 東書 2年 教科書 P.153 ℓ.17〜P.155 ℓ.11

22 B

走れメロス(1)

氏名　　組　　番

得点　　／50

1 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

著作権の関係で見本 PDF では表示していません。

（太宰治『走れメロス』）

問一 ——線①「暴君ディオニス」とありますが、王が「暴君」と見られているのはなぜですか。（10点）

問二 ——線②「おまえがか？」に込められた王の気持ちに当てはまらないものを次のうちから一つ選び、記号で答えなさい。（8点）

ア さげすみ　イ うらやみ

ウ あきれ　エ あなどり

問三 ——線③「口では、どんな清らかなことでも言える」とありますが、メロスが言った「清らかなこと」を最もよく示している一文を、文中から書き抜きなさい。（8点）

問四 ——線④「うぬぼれているがよい」とありますが、メロスは、王の言葉のどの部分に「うぬぼれ」を感じたのですか。文中から一文で書き抜きなさい。（8点）

問五 ——線⑤「ここ」とはどこですか。文中から二字で書き抜きなさい。（8点）

問六 ——線⑥「逃がした小鳥」とは、何（誰）をたとえた言葉ですか。（8点）